

再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：長谷川 朋弘

事業名 一般国道175号 <small>かんて</small> 神出バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局																																
起終点 自：兵庫県神戸市西 <small>にし</small> 区平野町常本 至：兵庫県神戸市西 <small>にし</small> 区神出町小束野		延長 5.7km																																
事業概要 一般国道175号は、兵庫県明石市を起点に、京都府舞鶴市に至る総延長約130kmの主要幹線道路であり、瀬戸内工業地域と舞鶴港を南北に結び、中国縦貫自動車道、山陽自動車道や第二神明道路などを相互に結ぶ重要な役割を果たしている。 神出バイパスは、神戸市西部における交通混雑の緩和、交通安全の確保等を目的とした道路である。																																		
S61年度事業化	S58年度都市計画決定 (H-年度変更)	S61年度用地着手																																
		H5年度工事着手																																
全体事業費	224億円	事業進捗率																																
		約78%																																
		供用済延長																																
		5.1km																																
計画交通量	24,600台/日																																	
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">B/C</td> <td style="width: 15%;">(事業全体) 1.6</td> <td style="width: 15%;">総費用</td> <td style="width: 15%;">(残事業)/(事業全体) 62/427億円</td> <td style="width: 15%;">総便益</td> <td style="width: 15%;">(残事業)/(事業全体) 269/675億円</td> <td style="width: 15%;">基準年</td> <td style="width: 15%;">令和3年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(残事業) 4.3</td> <td>事業費</td> <td>37/384億円</td> <td>走行時間短縮便益</td> <td>260/653億円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>維持管理費</td> <td>26/43億円</td> <td>走行経費減少便益</td> <td>8.6/20億円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少便益</td> <td>1.1/2.3億円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	B/C	(事業全体) 1.6	総費用	(残事業)/(事業全体) 62/427億円	総便益	(残事業)/(事業全体) 269/675億円	基準年	令和3年		(残事業) 4.3	事業費	37/384億円	走行時間短縮便益	260/653億円					維持管理費	26/43億円	走行経費減少便益	8.6/20億円							交通事故減少便益	1.1/2.3億円			
B/C	(事業全体) 1.6	総費用	(残事業)/(事業全体) 62/427億円	総便益	(残事業)/(事業全体) 269/675億円	基準年	令和3年																											
	(残事業) 4.3	事業費	37/384億円	走行時間短縮便益	260/653億円																													
		維持管理費	26/43億円	走行経費減少便益	8.6/20億円																													
				交通事故減少便益	1.1/2.3億円																													
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=1.2~2.0(交通量 ±10%) 【残事業】交通量：B/C=3.4~5.4(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.6~1.6(事業費 ±10%) 事業費：B/C=4.1~4.6(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.5~1.6(事業期間±20%) 事業期間：B/C=4.2~4.4(事業期間±20%)																																		
事業の効果等 ①交通混雑の緩和 ・神出バイパスの段階的な部分供用（H25.3及びH27.3）に伴い、小林交差点～北古口交差点間の現道の旅行速度が向上し、田井南交差点の渋滞も解消。 ・暫定供用したバイパス区間では、交通容量不足により通勤時間帯の渋滞が発生。 ・残る区間の整備や4車線化により、バイパス部の渋滞解消が期待される。 ②交通安全の確保 ・一般国道175号（事業区間の現道）は一部通学路指定されている区間があるものの、約8割が歩道未整備であり、自転車・歩行者の安全確保が課題。 ・神出バイパス部分供用（H25.3及びH27.3）に伴い、現道を通る全体交通量の約4割、大型車両の約6割が段階的に減少し、歩行者の安全性が向上。 ・残る区間の整備や4車線化により、通過交通が神出バイパスに転換することで、現道の交通量がさらに減少し、事故減少や自転車・歩行者の安全性向上が期待される。 ③地域活性化への支援 ・神出バイパスが通過する神戸市西区では、産業団地が整備されており、製造品出荷額が増加傾向。 ・残る区間の整備や4車線化により、産業団地へのアクセス機能が向上し、物流活動が促進され、地域の活性化に寄与することが期待される。																																		
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： ・「令和2年度国家予算に対する提案・要望」で神戸市より、神出バイパスの整備促進の要望を受けている。 ・平成29年11月、平成30年11月、令和元年8月・11月、令和2年9月・11月に一般国道175号整備促進期成同盟会（S41.10設立、神戸市・西脇市・三木市・小野市・丹波市・加東市の市長及び議長）より、神出バイパスの整備促進の要望を受けている。 神戸市長の意見：																																		

